



掛合中だよい



雲南市立掛合中学校
第25号(新春)
2026.1.8(木)
文責 根本登三男

学校教育目標：ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成



「初志貫徹」～3年生に贈る言葉～

※元日の富士山(日本平より撮影)

「初競り」、「初春」、「初日の出」、「初夢」、「初詣」、「初笑い」、「書初め」、「初心」…… まだまだたくさんあると思いますが、新春にふさわしい「初」がつく言葉を並べてみました。新鮮で何か心が弾みますね。

「初志貫徹」という言葉を3年生に贈ります。今年のお正月、どんな目標を立て、どんな夢や願いを心に秘めたのかわかりませんが、挫折しそうになった時にはこの言葉を思い出して頑張ってほしいです。

今年もよろしくお願いします

～「反省そして向上」の3学期～

6日(火)午前、連続する緊急地震速報や突き上げるような揺れに驚き、改めて地震の怖さを感じました。部活動中の生徒や出勤していた教職員にけがはなく、学校施設にも異常は見られなかったため(←目視確認ですが)、7日(水)以降は予定通りとし、今日、無事に始業式を迎えることができました。しばらくは警戒の日々が続くと思われます。変事には安全確保のため授業の中止、それに伴う下校時間の繰上げ等の措置をとります。急なお迎えをお願いがあるかもしれません、ご理解とご協力をお願いします。

3学期が始まりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、とても短くあっという間に終わってしまいます。(←そう感じる!!) でも1、2年生にとっては新学年への準備をする大切な期間であり、3年生にとっては進路を実現し、掛合中から羽ばたく「人生の節目」となる学期です。





47人それぞれに新年の目標や決意があると思いますが、3学期の合言葉は「反省そして向上」です。ありきたりの言葉ですが、「一日一日を大切にする」、「しっかりと自分と向き合う」、「やるべきことに真摯に取組む」、そんな3学期にしてほしいと思います。保護者そして地域の皆様には、今年も掛合中学校の教育活動にご支援を賜りますようお願いします。

「初志貫徹」…延々と生き続ける夢

昭和57(1987)年秋、私が教員をめざして静岡大学に進むことを決めたまさにその頃、15歳の少年がサッカーの名門静岡学園を中退し、単身ブラジルに渡る決意をしました。そうです。三浦知良さんことで、今でも現役選手として日本のサッカー界を牽引しています。ただ、ブラジルに渡ってからは怪我で挫折しそうになったり、夢と現実の違いに心が折れたりと、彼のサッカーライフは決して順風満帆ではありませんでした。

最近はテレビで見かけることは少なくなりましたが、年末のNHK紅白歌合戦にゲスト審査員として出演し、「紅白ドミノチャレンジ」のスターターを担当しました。サッカー選手なので足で軽く蹴ると思ったのですが、予想外にサッカーでは反則のハンドでした(笑)（←ネットニュースでバズってました。）

2026年は59歳、現役41年目を迎えます。消えることのないサッカーへの情熱はいったいどこから湧き上がってくるのでしょうか。たくさんある「カズ語録」の中に私のお気に入りが2つあります。

- 99回はずしても、平然と100回目を蹴る。そういう精神構造でないとやっていけない。
- 市選抜にも県選抜にも東海選抜にも選ばれなかつた私が、あとで世界選抜に選ばれた。



やはり情熱の根源は「夢を追い続ける」と「強い意志をもつ」ことなのでしょうか。まさに「初志貫徹」です。私の教員生活に影響を与えたといえばやや大げさですが、彼の生き方には学ぶことがたくさんあり、刺激を受けるたびに自分の言葉に置き換えて生徒たちに熱く語っていました。三浦知良さんのような生き方を誰もができるとは思いませんが、ほとんど年齢がかわらない私は、彼を見るたびにいつも叱咤激励されているような気がします。2026年も「キングカズ」を応援します。

新生徒会リーダー研修



7日(水)、3年生が最後の学力テストに挑んでいる同じ時間帯、新生徒会執行委員は朝からみっちりリーダー研修を行いました。アイスブレイクはとても楽しく和やかな雰囲気。生徒会活動のねらいや意義を確認し、規約をしっかり読み込みました。そして「とある議案」の集中審議。少ししか見ていませんが、そこはまさに議場でした。掛合中生徒会のこれからが凄く楽しみになりました。執行部のメンバーは第26号(地域版)で紹介します。

校長のつぶやき㉕(「夢」!!)

新春恒例の「初競り」と言えば、5億円を超える大間の本マグロが話題になりましたが、1箱3500万円の函館産のウニも凄いです。すし一貫150万円だそうです。寿司のネタ、いや話のネタはがらりと変わりますが、三浦知良さんの中学3年時の進路希望調査も凄いです。「第1志望 ⇒ ブラジル」ですから。担任の先生は怒ったようですが「果てしない夢」にはかないません。掛中生に「ブラジル」と書かれたら正直困りますが私たち大人の大切な仕事は「夢を語れる子ども」を育てることだと思っています。(つづく)

